

徳之島地区青年農業者会議を開催！

令和6年11月29日に徳之島地区青年農業者会議を開催し、農業者及び関係機関・団体の31人が参加しました。

会議では、4人の青年農業者が意見発表、プロジェクト発表、研修報告を行いました。

意見発表の部では、天城町で生産牛を飼育している藤岡銀次さんが、「就農するまでに経験した内容や今後の営農目標」について発表しました。

また、プロジェクト発表の部では、天城町でパッションフルーツとメロンを栽培している吉川勝也さんが、「パッションフルーツの新たな整枝方法に挑戦した内容」について発表しました。

発表後には参加者から多くの質問があり、充実した内容の会議となりました。



藤岡銀次さんによる意見発表



吉川勝也さんによるプロジェクト発表

ミカンコミバエについて

ミカンコミバエは、東南アジア等に生息する体長7mm程度の小型のハエの一種で、台風や季節風などに乗って飛来します。

名前にミカンとあるので、カンキツ類のみに影響があると思われがちですが、**グアバやマンゴー、パパイヤ、ウリ科、ナス科**など多くの植物に寄生します。また、**幼虫が果実内を食害し、果実が腐敗することや、他のミバエ類に比べて繁殖力が高いことから重要視されています。**

※発生が広がると寄主果実の島外への移動が制限される場合があります。

令和6年度(R7.1.21時点)は、徳之島全体で**43匹**の誘殺が確認され、トラップの増設やテックス板の設置、寄主果実の除去などが行われました。



幼虫によるグアバの食害



テックス板

出荷や自家消費しない果実・野菜は野外に放置せず、**早めに処分**を行うようにしましょう

ミカンコミバエのオスを誘引する物質と殺虫剤を染み込ませた板です。テックス板には触らないようにしてください！